

【分科会の感想・LD/ADHD等】

所属の地区	8. LD/ADHD等
志太・榛原	Aさんは同一人物のことか、別のお子さんのことかわかりづらかったです。遊びの写真を載せたり、遊びの種類などを紹介していただけると具体的で良いと思いました。遊びを1時間の指導の中でどの程度入れているのか入れていただけたら、指導時間の活動内容がわかりやすいと思いました。遊びの大切さ、その意図や目的を保護者や本人に伝えながら活動する大切さなど、知ることができました。ありがとうございました。
志太・榛原	アセスメントをしっかりとって目的を確かにした上で遊びを行っていることに感心しました。
志太・榛原	お話タイムはどのようなタイミングで、何をやっているか知りたいです。よい先輩に恵まれていることをうらやましく思いました。
志太・榛原	中学校通級なので、小学校の遊びの指導とは多少違いがありますが、「身体を動かす」で同じようなことをやっています。とにかく、その生徒のアセスメントを大事にして、いろいろ考えながらやっています。今回、分科会で出た意見も、今後の指導の参考にしていきたいと思いました。
志太・榛原	通級の授業で「遊び」を行うことで、子供が変容していく様子を教えていただきました。保護者も一緒に遊ぶことで保護者の表情も明るくなったり、話しやすくなったりするよさもあることが分かりました。午前中の山元先生の講演スライド35にあるように、「遊び」の段階があることも指導に活かしていきたいと思いました。
志太・榛原	発表を聴く限り、障害の重いお子さんへの実践かと思い、頑張っていらっしゃると察しました。思い切り遊びを楽しもうとする教師の姿勢、共感します。先輩からの助言も心強いですね。遊びの重要性を今後も考えていきたいと思います。
志太・榛原	発表を聞かせてくださり、ありがとうございました。自分は、今年度2年目の通級指導教室担当になりますが、昨年度引き継いだとき、前任者のやり方を聞いたら、どの子にも1.トランポリン 2.会話と日記 3.コグトレ 4.ゲームでした。どの子にも同じパターンというのに疑問を感じ、自分の判断でいろいろやり方を替えてしまっていますが、それもたまたまかわからずやっています。通ってくる子とドッジボールや野球で遊ぶのですが、トレーニングしないで遊んでいいのだろうか、と思うときもあります。しかし、鈴木先生の先輩の方が「最初とはにかく一生懸命遊んで。」と言ったのを知って、そういう指導もあるのだと驚きました。鈴木先生の学校または地区では、指導内容の基本的なパターンというのは、ありますか。それとも全くなく、遊び中心に指導内容を組み立てているのでしょうか？
志太・榛原	遊びの可能性に改めて気付くことができました。資料についてです。3事例のAさんは皆違うお子さんなので、AさんBさんCさんという呼び方の方がわかりやすいかなと思いました。
志太・榛原	遊びの重要性は強く感じている。子ども同士の関わりが極端に少ない子が多くなっているようにも感じる。個別学習の中で思い切り遊ぶ経験を通して、その子の課題を見つける、その子の課題にアプローチするなど成長のヒントになることがあると思う。その点でも、遊ぶことが必要だと感じる。ただ学習において、「遊び」と子どもに伝えることについては疑問が残る。「運動」「トレーニング」といった言葉を用いて、学習していることを子ども自身が感じられるになればより意味のあるものになると考えている。また、確かなアセスメントについてWISCといった客観的な資料、通級内、教室内での表れなどより知った上で学習を行う必要があるとも考えている。
志太・榛原	遊びを通して、子どもの心を開き、安心安全な場所と関係作りを行うことはとても有効ですね。中学校の生徒も遊びというか、生徒が気軽に取り組める楽しい活動を取り入れています。次回も通級指導教室に行きたいと思える場所になることを大切にしています

志太・榛原	遊びを通してアセスメントをし、一人ひとりの課題に合わせて遊び込むことの大切さを改めて知りました。対象児3名が全て「A児」になっていったので、「A児」「B児」「C児」というように分けたほうがわかりやすいと思います。またそれぞれの実践の内容を名称だけではなく、もっと具体的に知りたかったです。
小笠	狭い教室で1対1の個別指導を行っているので、大きな運動はできません。その中でも体を動かすことやゲーム遊びを短時間でも取り入れています。今回の実践のようにねらいをもった実践をこころがけていこうと思います。貴重な実践を発表してくださりありがとうございました。
小笠	発表ありがとうございました。中学通級の難しさを日々痛感していますが、生徒の実態に合わせたアセスメントをおこなっていきたいと思います。
静岡	「遊び」の可能性はすごいな...と感じました。遊びをアセスメントや指導に有効に使えるように、指導者として理論や発達の段階をきちんと理解しておきたいと思いました。そして、やっていることの意味が保護者や学校に説明ができるように勉強したいと思いました。
静岡	・教員も一緒になって全力で遊びをやっていくことの大切さを改めて実感しました。 ・先生方と、意見交換ができてとてもありがたかったです。 ・小学校中学校の段階でやる内容は違っても、遊びの要素とつけたい力をむすびつけて児童生徒のやる気を引き出すことが必要だと感じました。また、具体的な指導内容を学んでいきたいです。
静岡	アセスメントの上で遊びを取り入れてくことの重要性が分かりました。
静岡	担当者が一生懸命に子供と遊ぶことで少しずつ子供は自信が付き、変わっていくことを再認識しました。
静岡	発表をありがとうございました。子どもの実態をよく把握した遊び指導だったと思います。遊びを組み込むことの重要さを改めて実感しました。指導の時間のどの程度遊びの時間として設けているか、遊びは「今日はこれをやろう」など教師からどのように提案していくのかなど東海四県大会の時に教えていただけたら嬉しいです。ありがとうございました。
静岡	遊びがアセスメントにつながるということが改めてわかったお話でした。鈴木先生のお話にあった、即褒めて、強化につなげるという言葉をお忘れずに、子どもたちに向き合っていきたいです。
静岡	遊びの指導の中でABCの即時フィードバックを通して、適切な行動を強化しているねらいを感じました。今回の事例の児童の遊びの指導とそれぞれの児童の主訴の関連性のご教示よろしくお願ひします。
静岡	遊びの中にはたくさん学びの様子があるヒントをいただいた。その子にとってどの遊びが適切か、どのようなところをみとり、子どもに返すかが大切だと思った。
静岡	遊ぶ様子を動画で見たかったです
静岡	幼児が学齢になってどんな現状なのか知りたくて参加させていただきました。幼児もコチラの狙った課題(遊び)を通して知らず知らずのうちに習得していけるよう寄り添っています。
静岡	鈴木先生の通級担当者としての姿勢に、多くの学びがありました。「確かなアセスメント」「一瞬たりとも見逃すまい」等、私達が常に心がけるべき姿です。さらに、エビデンスに基づく指導であること頭が下がります。児童の困難さの背景を探り、感覚統合という観点から、「遊び」というアプローチを実践されています。児童のより良い発達を支える土台づくりですね。私たちも同じ考えです。明日からの指導に向け、背中を押していただきました。ありがとうございました。
東部第1地区	ありがとうございました。中学校でも、遊びを取り入れ、子どもたちの力を伸ばせるようにしていきたいです。アセスメントについても、学んでいきたいと思いました。
東部第1地区	目的をもって遊びを行うことが大切だということが分かりました。保護者や担任にも参加してもらうのもよいと思いました。今日は、貴重な実践を聞くことができました。ありがとうございました。
東部第1地区	遊びは、子供にとって学びです。言葉で伝わりにくい発達のこどもたちにとって、大事な学習ツールだと改めて思いました。また、アセスメントツールとしても重要な通級のアイテムです

東部第1地区	遊びや運動の中からアセスメントをとるというお話を聞いて、自分もそうできたらよいな、と思いました。貴重なお話をありがとうございました。
東部第1地区	遊びを通しての指導について考える機会になりました。大切なのは、遊びの中にねらいと意図をもたせることだと学びました。発表ありがとうございました。
東部第1地区	遊ぶということを改めて考えさせられました。遊ぶことの奥深さを感じています。
東部第2地区	ありがとうございました。アセスメントに基づいた遊びの大切さがとてもよく分かりました。45分間の時間の使い方についての質問です。子供によって遊びからスタートする方法も通級だからこそできることだな、と思いました。質問なのですが、活動の組み立てはどのようになっていますか。45分間、さまざまな遊びをしていくのか、初めに遊びを入れてからSSTや認知トレーニング等をしているのかでしょうか。また、遊びをするときには、子供へ「遊びをするねらい」等を伝えていきますか。細かいところで申し訳ありません。私も遊びを効果的に取り入れたいと思っています。よろしく願いいたします。
東部第2地区	どんなねらいをもってそのあそびをするのが大切ですね。あそびの中でその子の現れをとらえてよさを価値づけたり、学級での表れも意識して指導をされているところがすばらしいと感じました。ありがとうございます。
東部第2地区	授業中での時間配分をお聞きしたいです。また、勝負にこだわりすぎる子供が泣いてしまったり暴れてしまったりして手がつけられなくなってしまった場合は、どのようにクールダウンさせるのか、アンガーマネジメント的なこともどのようにされているのか、教えていただけたらありがたいです。貴重なお話をありがとうございました。
東部第2地区	日頃自分がやっている実践とよく似ているなあって感じて、それを形に載せてくれていたと感じられ嬉しくなりました。東海四県大会も頑張ってください。
東部第3地区	ありがとうございました。分科会内容の発表の中にもありましたが、もし、可能であれば動画の中に実際に使った遊び道具など入れていただけるとわかりやすいかと思いました。それぞれのお子さんと少しずつ近づいていく様子をもっと詳しく知りたいと感じた発表でした。
東部第3地区	その子の特性を見ながら目的をもって遊びを取り入れていくことが大切だと思う。
東部第3地区	子どもは、遊びから多くのことを学ぶと、よく聞きますが、真正面から研修してください実践は、なるほどと思うものばかりでした。よい先輩に恵まれている環境も羨ましいです。ハリガリ早速注文します。
東部第3地区	子どもを丁寧にみとり、大切にされているからこそその確かなアセスメント、他者との連携だと思いました。鈴木先生の実践と午前中の山元先生のお話が重なって感じられました。私も遊びの活用法をさぐるとともに、さまざまな方への伝え方を考えていきたいと思いました。
東部第3地区	先生の発表の中で最初に「ハリガリ」をやると言っていたのですが、最初にやる目的や意図を教えてください。実践発表を聞いて、改めて「遊び」のもつ効果や可能性を感じました。遊びの中に様々な要素があり、その子に合ったものを選び、その子にあった方法で行うことで指導効果をあげることができると感じました。そのためには、的確なアセスメントが必要で、先生はそこをしっかりと実践されていたので、そのアセスメントの方法をもっと詳しく知りたかったです。また、遊びの種類についても、もっとたくさん教えてください。今まで何気なくやっていたのですが、しっかり目的意識をもってこれからは取り組もうと思いました。素晴らしい実践発表をありがとうございました。
東部第3地区	遊びと一言で言っても奥が深いと思いました。遊びを通して何を狙うのか、どんな力をつけたいのかなど、工夫次第でいろいろな要素が考えられます。保護者もいっしょに遊ぶという時間は、普段の生活の中でなかなかとれないと思うので、通級の時間の中であえて取り入れていくことで、家庭の中での親子の良い関わりにもつながると感じました。私も実践していきたいです。
東部第3地区	遊びの中でアセスメントをしていくこと、それによって指導の仕方や内容を調整し、できたことを褒めるというサイクルが大切だと認識しました。

